

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長

しまね暮らし推進課長 仁科 慎治郎

電話番号

0852-22-6179

事務事業の名称	中山間地域研究センター事業	
目的	(1) 対象	中山間地域住民・団体、行政担当者等
	(2) 意図	中山間地域における現状の把握と解決策を研究し、中山間地域の活性化の取り組みに役立ててもらう。
事業概要	○中山間地域研究センター研究事業：中山間地域における各種課題把握及び解決策を明確化するための実証実験も含めた研究 ○中山間地域研究センター研修事業：中山間地域におけるリーダー等育成のための研修実施 ○中山間地域研究センター情報事業：中山間地域の活性化に資するための情報提供 ○中山間地域研究センター支援事業：中山間地域の活性化に資するために研究成果を普及	

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名 研究成果あるいは、センターが有している地域支援の手法等を活用して支援する地区数（累計）	目標値		40.0	70.0	100.0	130.0	地区数
		取組目標値						
	式・定義 中山間地域対策プロジェクトチームによる現場支援、及びそれ以外に地域からの要望等により支援を行う地区数（累計）	実績値		-				
		達成率		-	-	-	-	%
2	指標名	目標値						回
		取組目標値						
	式・定義	実績値						
		達成率		-	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費 (b) (千円)	42,194	58,021
うち一般財源 (千円)	28,206	32,421

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

中山間地域における現状及び課題の把握や、その解決策を明確化するための実証実験も含めた研究を行い、研究の成果について成果発表会や講演会等の開催を通じて情報発信を行うとともに、研究成果を活用し地域づくりの取り組みを支援している。

○主要研究（H25-H27）

①広域的な地域運営組織の発展段階に応じた協働体制づくり、②子育て世帯の効果的な定着条件整備に向けた研究、③地域住民組織による販売事業の運営成立条件と顧客獲得手法の研究、④新たな拠点・ネットワーク構造

6. 成果があったこと（改善されたこと）

国内唯一の中山間地域専門の研究機関として、県内外からの視察や講演依頼は多数ある。また、研究成果を基に国施策へ提言を行っている。  
 ○H27視察受入件数 44件  
 ○H27講演依頼件数 102件  
 ○国施策への提言（委員会委員等）  
 ・内閣府「地域の課題解決のための地域運営組織に関する有識者会議」  
 ・農林水産省「人口減少社会に対応した農村整備研究会」ほか

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

○研究成果を基に研修の実施や情報発信、地域づくりの取り組みへの支援を行っているが、中山間地域を取り巻く環境は厳しさを増し、地域コミュニティの維持や、買い物など日常生活に必要な機能・サービスの確保が困難となる集落が増加している。

②困っている状況が発生している「原因」

○若年層を中心とした人口の流出や高齢化の進行による、集落の小規模化、日用品を販売する商店の閉鎖や、交通手段の空白地域の発生、地域産業の衰退など。  
 ○地域づくりの取り組みを支援する体制として、行政（県、市町村）の分野横断的な支援体制の整備や中間支援組織など民間との連携が十分ではない。

③原因を解消するための「課題」

○中山間地域が抱える様々な課題に対応していくために研究成果の地域への普及を進めることが必要である。  
 ○県、市町村、民間組織、外部人材等が密接な連携を図り分野横断的な支援体制を整えることが必要である。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

○持続可能な地域づくりに向けて「小さな拠点づくり」の取り組みを積極的に支援するため、中山間地域に共通する問題に関する調査研究を進め、中山間地域の構造的な問題解決を目指すとともに、関係する行政機関や民間等と密接に連携を図りながら、市町村や地域等へ成果の普及やアドバイス、情報提供を行う。

・課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効果的・効果的に行ってください。

・上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）